

# 「一億総活躍社会」の実現へ ～フレイルモデルにおける「一連のアプローチ施策」～

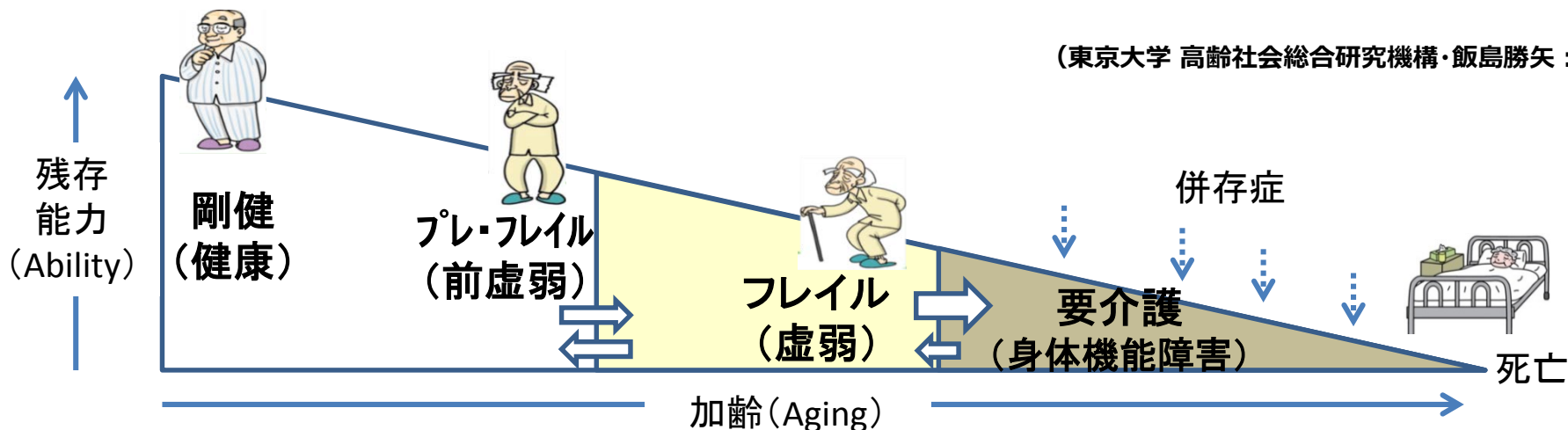


東京大学 高齢社会総合研究機構(ジェロントロジー:総合老年学)

飯島 勝矢

# フレイルモデルにおける4つのフェーズからみた「一連」のアプローチ施策

(東京大学 高齢社会総合研究機構・飯島勝矢：作図)



## 【剛健～健常】

### 生活習慣病予防 (メタボ予防)

- ◆ たっぷり運動
- ◆ 適正なダイエット (腹八分 = 食事制限)

### ※【注意】

高齢者における減量の意義 (光と影)

BMIパラドックス  
食の誤認識

## 【前虚弱 (プレ・フレイル) ~軽度フレイル】

### フレイル予防 (介護予防) : 早期予防重視型

#### 【三位一体】

- ◆ しっかり歩く・動く
- ◆ しっかり噛んで しっかり食べる
- ◆ 社会性を高く保つ (就労なども含む社会貢献や社会参加)

※三位一体 (社会参加・栄養・運動) の重要性を気づき、そして自分事化する

## 【要支援1/2～要介護1/2 (=軽度者)】

### 自立支援ケア型

- ◆ しっかりリハビリ
- ◆ しっかり口腔ケア
- ◆ しっかり栄養管理
- ◆ 少しでも外へ出る (閉じこもらない)

※IADL改善を通して、自立機能を回復し、要介護から少しでも遠く

※従来の介護サービスの見直し

## 【要介護3～5 (=重度者)】

### 医療・介護や住まいも含めたトータル・ケアシステム

- ◆ 地域包括ケア・在宅療養の推進
- ◆ 医療介護連携の総合的な提供
- ◆ 生活の質 (QOL) を重視

### ※【2つの論点】

- ① 介護従事者の業務内容の許される範囲の拡充と役割分担
- ② 介護従事者を中心とした専門職の教育および研修体系の抜本的見直し

※多職種チーム連携で「食べる」ことにとどこまでもこだわる

# 2つの論点

## 「①ケアの担い手のあり方」と「②各職業資格」

①

介護従事者の業務内容の  
許される範囲の拡充と  
役割分担

②

介護従事者を中心とした  
専門職の教育および  
研修体系の抜本的見直し

- 大きく分けて2つの論点に対して、広く継続的な議論され、さらに発展されることを期待したい。
- これら（特に②）に関する【プラットフォーム】のようなものが設置されることに期待したい。
- 地方創生が強く推し進められる流れがあることから、それに呼応して、「新しい福祉の提供ビジョン」の考え方も、次第にとくに地域福祉側から共生型拠点とそれを支える人材のモデルとして具体化されつつある。  
そうした介護福祉分野におけるイノベーションが強く求められる。